

## 熊本地震「災害復興支援ボランティア」活動概略報告

(平成 28 年 4 月～令和元年 9 月 活動期間 3 年 6 か月)

(一社)熊本県鍼灸マッサージ師会  
会長 高橋 武良

### 第 1 次活動 平成 28 年 4 月 19 日～5 月 8 日 (20 日間 利用者 1,106 名)

熊本地震本震発災 3 日後より、熊本県庁へ日本鍼灸師会を窓口にて医療介護班登録を行った「鍼灸マッサージボランティアチーム」は、DMAT (災害時派遣医療チーム) の多職種連携として活動を始める。

熊本市西区、中央区、東区、西原村などで避難所の巡回を行い、避難所環境や避難者のアセスメントを行うとともに、エコノミークラス症候群や生活不活発病、そして神経系・運動器の不調からくる生活機能病などに対して、健康被害を最小限に留めるために、鍼灸マッサージによるケア活動を行った。

鍼灸マッサージの直接利用者の身体に触れ、コミュニケーションを取りながら行なうという特性を生かした活動は、安心感が生まれた避難者の体調を整えるとともに、持病の有無やその状況、避難所の環境やその不備などを聞き取る情報収集にも長け、行政担当者、他の医療チームへの情報提供においても貢献することができた。

日	月	予	事
5月	5/3(水)	記	1
			東区
			中央区 総合体育館 12名 鷹徳5名 大田原7名
			西区 公民館 28名(新豊10名) 巡回 花隈中4名 千原台3名
			西原村 小西5名 西原中5名 白坪4名
			松橋町 5/7 松橋 19名

日	月	予	事
5月	5/4(木)	記	16
1	日	報告	17
			東区 巡回 公民館 13名 泉川小6名 秋津台5名 菅葉
2	月		18
			中央区 総合体育館 11名(初診) 巡回 合同行舎
3	火		19
			西区 公民館 26名 巡回 花園 総合出張所 5名
			20
			西原村 小西5名 西原中11名 河原小13名
			21
			松橋町 5/7 松橋 12名(初診)
			22
			熊平東3名 赤中6名 京橋中10名 針
			出木1名 出木1名 白川1名 33名
			23
			7 人々々々々 丸太十合 市 18名
			24

活動部隊 (出動人員 252 名、施術者 192 名)

(公社)日本鍼灸師会、(公社)全日本鍼灸マッサージ師会、九州看護福祉大学、(公社)福岡県鍼灸マッサージ師会、(一社)熊本県鍼灸マッサージ師会、ほか全国からの資格者有志

### 第 2 次活動 平成 28 年 5 月 12 日～9 月 13 日 (40 日間 利用者 446 名)

会員一人一人が被災した当事者の県師会としてできる範囲での活動を行った。

避難者が集約された熊本市の拠点避難所である熊本市立総合体育館で、火曜日の午前と木曜日の午後に時間帯を決め、エコノミークラス症候群や生活不活発病、そして神経系・運動器の不調からくる生活機能病などの症状とともに、被災後の精神的な負担および慣れな

い環境から起こる不眠・不安・便秘等の症状を抱えた多くの方々に鍼灸マッサージの施術と健康相談・運動指導を行い、心身の健康の回復と疾病・介護予防に努め、生活再建意欲の醸成と向上に繋げることができた。

拠点避難所は9月15日閉鎖



活動部隊（出動人員 100 名、施術者 80 名）

（一社）熊本県鍼灸マッサージ師会、ほか全国からの資格者有志

### 第3次活動 平成29年2月15日～令和元年9月26日（176日間 利用者1,966名）

被災後、自宅を追われ避難所生活から仮設住宅へと生活の場を移さなければならなかった方々に対して、少しでも心身の状況が回復するように、鍼灸マッサージを主とした健康支援活動とともに介護予防体操や脳トレ体操、卓球バレー等の軽い運動と利用者の健康意識を高めるために東洋医学健康講和や手軽に家庭でできるツボ療法などのサロン活動を行った。

- ・熊本市南城区南町藤山仮設（平成29年2月23日～ 195戸510名）

第1・第3・第5 木曜日 14:00～17:00 3時間

第2・第4 水曜日 9:30～12:30 3時間

第2日曜日 10:00～15:00 5時間（会場2か所）

- ・熊本市南区富合町南田尻仮設（平成29年5月25日～ 28戸60名）

第2・第4 木曜日 14:00～17:00 3時間

- ・熊本市南区富合町平原仮設（令和元年4月25日～ 14戸26名）

第4 木曜日 14:00～16:00 2時間

曜日と時間を決めて定期的に入居者の身体の管理ができるように活動した。

鍼灸マッサージの施術は、利用者一人一人の施術記録を付け、個々が持つ心身の問題点を担当者全員で共有し、定期的にしっかり活動したことにより、多くの利用者の方々に症状の緩解と安定がみられ、活動に対して大きな支持を得ることができた。



活動部隊（出動人員 610 名、施術者 554 名）

（一社）熊本県鍼灸マッサージ師会、ほか全国各師会有志など

鍼灸マッサージ師が、緊急災害発災直後の急性期から亜急性期、そして慢性期に至るまで、その活動する時期によって役割は変わってきても、資格を以て活躍する場を見いだせた事は非常に有意義な事でした。

最後に熊本地震発災後、長きにわたり全国各地より数多くの業団・業友の皆様方にご激励、ご支援等をいただきましたことに心より感謝申し上げます。